

令和 8 年 7 月 9 日
静岡県環境放射線監視センター

過去の値の上限逸脱に係る原因調査報告（空間放射線量率）

（要旨）

令和 7 年 10 月 15 日、袋井市役所及び磐田市福田支所モニタリングポスト（以下「MP」という。）の空間放射線量率（10 分間平均値又は 1 時間平均値）の値が、一時的に過去の値（※）の上限を超過したため、その原因について下記のとおり調査した。

調査の結果、過去の値の上限を超過した原因は、降雨による自然変動（自然放射線の変動）と考えられた。

※ 過去の値とは自然変動と判断された直近の過去 5 年間の最小から最大までの幅

記

1 測定結果

表 1 及び表 2 のとおり、袋井市役所 MP で測定した空間放射線量率（10 分間平均値及び 1 時間平均値）及び磐田市福田支所 MP で測定した空間放射線量率（1 時間平均値）が、過去の値の上限を超過した。

2 原因調査

（1）発電所内エリアモニタリング設備等の異常の有無

テレメータシステムで収集している発電所敷地境界モニタリングポスト、排気筒モニタ及び放水口モニタの当該時間帯の空間放射線量率及び計数率を確認したところ、平常の変動幅を超過する数値は計測されなかった。

また、その他エリアモニタリング設備（格納容器雰囲気モニタ、燃料交換エリア換気モニタ等）に異常はなかった。

（2）自然放射性核種の変動

各 MP は、同時時間帯に降雨が計測され、そのことによる影響で空間放射線量率が上昇したと考えられる時系列変化を示していた（図 1、図 2）。

また、各 MP のスペクトル解析結果を確認したところ、自然放射性核種（U 系列）の値が上昇していた（図 3）。

よって、今回の空間放射線量率上昇は降雨による影響と推定された。

（3）周辺環境の変化

現地の周辺環境を監視カメラの映像により確認したところ、降雨以外に空間放射線量率の上昇に寄与するような環境の変化は認められなかった。

3 まとめ

袋井市役所及び磐田市福田支所 MP において過去の値の上限を超過した原因は、降雨による自然変動（自然放射線の変動）と考えられた。

表 1 空間放射線量率（10 分間平均値）

単位：nGy/h

測定地点	日 時	測定値	過去の値
袋井市役所	10/15 03:30	85	39～84

表 2 空間放射線量率（1 時間平均値）

単位：nGy/h

測定地点	日 時	測定値	過去の値
袋井市役所	10/15 04:00	82	39～81
磐田市福田支所	10/15 04:00	70	33～69

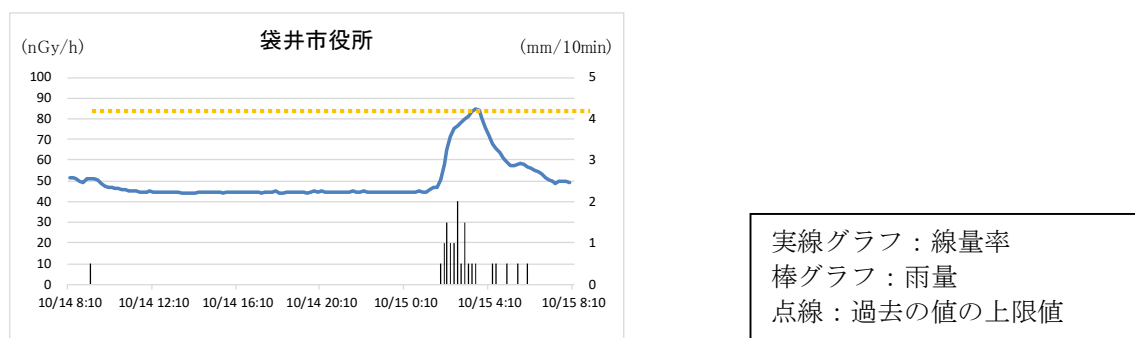


図 1 空間放射線量率及び雨量の時系列変化（10分間平均値）

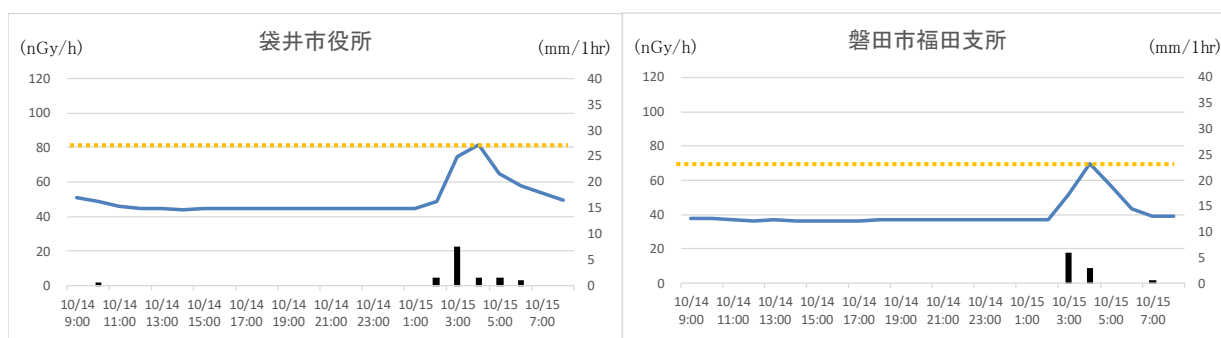


図 2 空間放射線量率及び雨量の時系列変化（1 時間平均値）

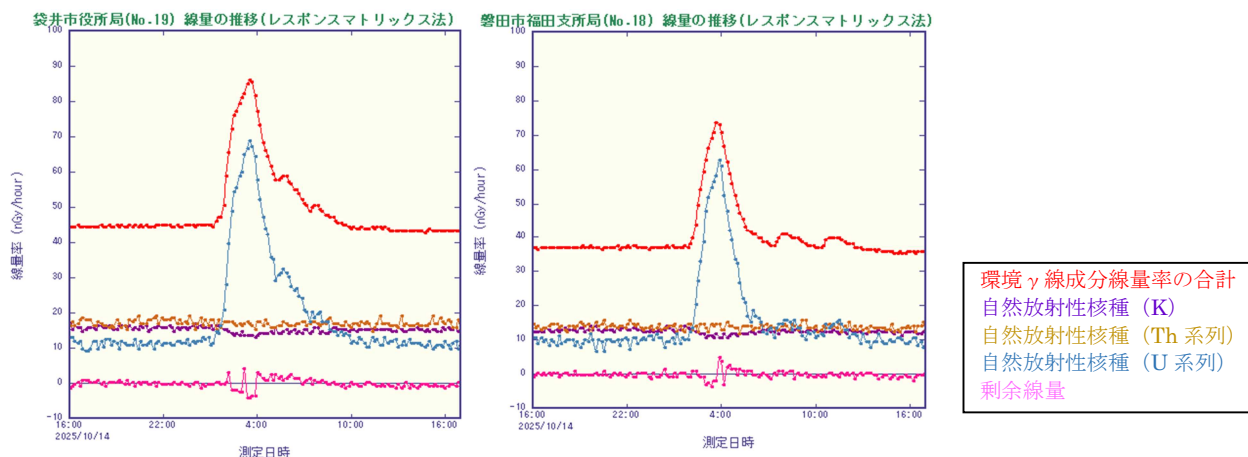


図 3 スペクトル解析結果